

恵庭市長定例記者会見（R7. 6. 27）



お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日は、第2回定例会が終了しましたので、議会を終えての所感、並びに今後予定する事業などについて発表させていただきます。

今議会におきましては、「令和7年度一般会計補正予算」などについて審議いただきました。その全ての議案についてご承認いただきましたことに、まずもって感謝いたします。

また、一般質問や各常任委員会の中で、市政の各般にわたる課題に関し、ご提言をいただきました。

これら議会からのご指摘を大切にしながら、さまざまな施策の推進を図って参ります。

それでは、本日の発表内容を述べさせていただきます。

初めに、「定額減税補足給付金（不足額給付）」についてであります。

急激な物価高にある現状を踏まえ、昨年度から実施しております定額減税や当初調整給付金に不足額が生じた方に対して、1万円単位で切り上げて算定した額を追加支給するものとなります。

支給対象は9,050名と見込んでおります。

対象となる方には、7月中旬から下旬にかけて案内文書を発送する予定です。

また、本市において、当初調整給付を支給している方やマイナンバーカードに公金受取口座登録をお済ませの方は、申請不要とし、8月中旬に口座へ振り込む予定です。なお、申請の必要な方の申請期限は、10月末までとなっております。

2点目は、「令和7年国勢調査」についてであります。

令和7年10月1日を調査期日として、国勢調査を実施いたします。

国勢調査の体制等ですが、本市では591の調査区に、指導員60名、調査員は最大355名を動員して実施する予定です。

スケジュールについてですが、6月2日に国勢調査実施本部を設置しており、8月1日には企画課から第2庁舎1階へ移転する予定です。

調査員が、9月20日から調査票を配布開始し、10月27日まで回収を行います。その後、指導員による確認作業を経て、実施本部では3月頃まで業務を行います。

なお、国勢調査実施本部の体制等については資料をご確認ください。

3点目は、「**戸籍の振り仮名記載**」についてであります。

令和7年5月26日に施行された戸籍法の一部改正により、これまで戸籍には記載されていなかった氏名のフリガナが、新たに戸籍に記載されることとなりました。

これに伴い、恵庭市に本籍がある方を対象に、戸籍に記載される予定の氏名のフリガナを圧着ハガキで通知いたします。

発送予定日は、7月14日、通知発送予定数は、約3万6,500通となっております。

通知に記載されたフリガナが正しければ、届出の必要はありませんが、通知のフリガナに誤りがあった場合は、必ず届出が必要となります。

届出の方法については、マイナポータルからのオンライン届出のほか、市民課や支所・出張所の窓口、郵送による届出が可能となっております。

令和8年5月25日までに届出がない場合は、通知をしたフリガナがそのまま「市町村長記録」として戸籍に記載されることとなります。

また、6月9日から翌年3月31日までの平日9時から17時までの間、市民課にコールセンターを開設し、問い合わせに対応いたします。

4点目は、「**長期休み学童預かり事業**」についてであります。

本事業は、働く時間が短いといった理由で学童クラブの利用要件を満たさない方や、長期休業期間のみお子様を預かってほしいといったニーズにお応えするため、令和6年度より試行実施しており、本年で2年目となります。

令和6年度は、夏休み・冬休み・春休みを通じて事業を行いましたが、この中で得られたアンケート結果等の検証により、料金設定の改善や周知方法の拡大が必要と考えました。

それらを踏まえ、本年の夏休みは、料金設定を日額1,500円、期間上限1万5,000円といたしました。利用申込は、学校を通して児童全学年へ案内文書を配

布した他、市公式LINE等各種SNSも活用し、募集しております。なお、申込は7月4日までとなっております。

5点目は、「**恵庭市女性デジタル人材育成事業の実施**」についてであります。

本事業は、国の女性デジタル人材育成プランに基づき、女性の長期的な経済的自立を目指すため、デジタルスキルを身につけた人材を育成し、就労につなげることを目的として、本年度より実施するものであります。

本事業の正式名称は「恵庭市女性デジタル応援プロジェクト」、通称「デジプロ」といい、6月30日より募集を開始いたします。

また、応募を検討している方に向け、7月11日の13時30分よりオンラインによる説明会も合わせて開催いたします。

市といたしましては、多くの女性の市民に参加いただき、デジタルスキルを身につけていただくことにより、女性の長期的な経済的自立につなげて参りたいと考えております。

6点目は、「**第36回恵庭花と暮らし展の開催**」についてであります。

今年は、6月28日・29日の2日間、花の拠点「はなふる」にて開催されます。ステージイベントやキッチンカー、物販・飲食店舗の出店に加え、素敵な撮影スポットも設置されるなど、お子様から大人まで楽しめるイベントが盛りだくさんとなっております。

さらに、みんなの花壇づくりやハンギングバスケット体験、オープンガーデンバスツアーなど、花と緑に触れる体験も充実しております。多くの皆様がご来場されますことを期待しております。

7点目は、「**(仮称)花と緑の文化センターの開設**」についてであります。

本市では、市民参加の促進、観光客の誘致、「はなふる」の持続可能な運営を通じ、「花のまちづくり」を推進するため、(仮称)花と緑の文化センター構想を策定し、運営組織設立準備会を発足いたします。

今年度より試行事業を開始し、「花と緑の記念日」である7月13日には「花と緑に関する相談窓口」を開設予定です。市民による花や樹木の育成、庭づくりについてや、団体による公共施設の花壇管理について相談できる場とし、地域への貢献と関心を高めてまいります。

相談窓口は「はなふる」暮らしを恵む庭集会所に開設し、夏季は月2回、冬季は月1回、事前の電話聞き取り後、対面で対応いたします。

さらに、「はなふる景観管理事業」や「ガーデナー等研修事業」も実施し、（仮称）花と緑の文化センターが担う役割やその運営組織について検討を進めてまいります。

8点目は、「**恵庭跨線橋補修工事の実施**」についてであります。

恵庭跨線橋につきましては、令和3年度に設置した「恵庭跨線橋維持管理計画検討委員会」において検証された対策内容に基づき、令和5年度に1～4径間部の補修を実施したところであります。令和6年度にJR軌道敷地、直上部である5径間部の施工について、北海道旅客鉄道株式会社と協定を締結したことから、残りの6～11径間と合わせ、本年度補修を実施するものであります。

工事実施に伴い、予定では8月から翌年1月末までの約6か月に渡る長期間について「車両の通行止め」が必要となります。市民の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、現地に設置されている迂回路看板に従って、通行のほどお願いいたします。また、変更等が生じた場合は広報等で随時お知らせいたします。

教育長から発表

私からは、「えにわ移動図書館車の運行」についてご説明いたします。

図書館や本を身近に感じてもらえる場として、市立図書館指定管理者の株式会社図書館流通センターが「えにわ移動図書館車」の運行を始めます。

移動図書館車は軽自動車の荷台コンテナを開閉可能とし、最大500冊程度の本を積載することができます。また車両の外観は、人気絵本作家「ヨシタケシンスケ」氏デザインのオリジナルラッピングが施されております。

運行は、イベントに出向するスポット運行とルート運行を予定しており、本の貸出、返却、利用登録の他、スポット運行では、その時々に応じて「おはなし会」や「電子図書館登録説明会」などの実施も検討しております。

最初の運行は、明日28日、はなふるで開催される「恵庭花とくらし展」となっております。会場ステージでのお披露目式のほか、イベント終了まで会場内に常駐しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

●質疑応答

発表項目について

- (記者) 恵庭市女性デジタル人材育成事業について、具体的にどのような狙いがあるのか。
- (市長) 事業としては全10回の講座を予定しており、デジタルスキルの向上が見込まれる。さらに、就職につなげる支援も行うので、子育てなどで仕事ができなかったという人でも安心して働ける環境が整うのではないかと期待している。

その他について

- (記者) 日本ハムファイターズの2軍施設が北海道へ移転するという報道があり、候補地として恵庭市もあがっているとのことだが、今後どのような活動に取り組むのか。
- (市長) 昨年11月の報道段階でも、来ていただけるなら来て欲しいと回答していたところである。相手方の希望を聞いたうえで、対応を検討していきたい。
- (記者) 施設建設には相当な面積が必要になるかと思うが、候補地の予定を聞かせて欲しい。
- (市長) 相手方がどのくらいの規模を考えているかわからないので、現時点では未定。
- (記者) 固定資産税のインセンティブをつけて企業誘致をするなどの事例もあるが、どれくらいのインセンティブを提示するつもりがあるかなど、気持ちの部分を聞かせて欲しい。
- (市長) 来るのであればできる限りのことはしたいという気持ちでいる。ただ、規模や財政面などの問題もあるかと思うので、市民理解を得た中で進めていく必要があると考えている。
- (記者) 市長選の思いを聞かせて欲しい。
- (市長) 現時点では出るとも出ないとも言えない。支援団体などとも相談しながら決めたいと考えている。